

美 祢 市 地 域 福 祉 計 画
美 祢 市 地 域 福 祉 活 動 計 画

平成28年 9月

美祢市・美祢市社会福祉協議会

ごあいさつ

近年、少子高齢化や核家族化が急速に進行し、価値観や生活スタイルの多様化に伴う個人主義の広がりにより、地域での住民相互の社会的つながりが希薄化し、介護や子育てへの不安、高齢者の孤立、児童虐待への対応や障害のある人の自立支援など求められる福祉ニーズも複雑・多様化しています。



本市においても同じような状況にあり、多様で複雑になる福祉ニーズへの対応は、これまでの公的サービスのみでは難しい状況にあります。

これからの福祉のまちづくりにおいては、行政はもとより、地域社会を構成する市民一人ひとり、地域の近隣住民、各種団体、企業などが共に考え取り組み、年齢や性別、障害の有無などにかかわらず、すべての人々が尊厳を持ち、それぞれの役割を果たしながら地域社会を築いていくことが求められています。

こうした背景のもと、本市では高齢者まで誰もが住み慣れた地域で生きがいを持って日常生活を営み、安心して自立した生活ができるまちづくりを目指し、平成28年度から平成31年度までの4年間を計画期間とし、「共に支えあい、共に生きる福祉のまちづくり」を基本理念に3つの基本目標を設定し「美祢市地域福祉計画」を策定しました。

本計画は、地域福祉推進の中心となる社会福祉法人美祢市社会福祉協議会が策定する「美祢市地域福祉活動計画」を一体として策定することにより、地域住民が地域福祉活動に主体的にかかわる新たな支え合いのしくみづくりを力強く推進し、より実効性のある計画にしています。

本計画における各種施策の展開は、福祉分野だけの効果にとどまらず、市全体の活性化とすべての市民の幸せにつながっていくものと確信しております。

今後は、本計画の基本理念に基づき、地域住民の皆様や関係団体等の方々と協働で地域福祉の推進に努めてまいりたいと考えておりますので、より一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたり、多大なご尽力をいただきました美祢市地域福祉計画策定委員会の皆様をはじめ、住民ふくし座談会等にご協力いただきました市民の皆様並びに関係団体の方々に、心から感謝申し上げます。

平成28年 9月

美祢市長 西 岡 晃

ごあいさつ

近年地域福祉を取り巻く環境は、少子化に伴う人口減少、超高齢化や核家族化、社会情勢の変化にともなって、地域での連帯感も希薄になってきています。

美祢市においても例外ではなく、これまでの福祉制度だけでは、対応困難な状況が顕著化し、高齢者の孤独死、ひきこもり、児童虐待等新たな社会問題が発生し、地域の福祉ニーズも複雑・多様化しています。



このような福祉課題に対応するには、地域福祉を進め環境整備を担う美祢市と、地域福祉を実行推進する美祢市社会福祉協議会との施策や事業を協働、分担することが効果的との考えから、美祢市の「地域福祉計画」と美祢市社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」を一体的に策定いたしました。

このことにより、美祢市の地域福祉について、美祢市と美祢市社会福祉協議会が共通の理念・目標のもとでそれぞれの役割を明らかにするとともに、行政の施策と社会福祉協議会の活動計画が同じ方向を向いて、地域福祉を推進していくための大きな一歩を踏み出し、より身近な地域における地域福祉活動を重層的かつ総合的に推進できるようになりました。

今後、計画を実行性のあるものにしていくためには、市民の皆様、美祢市、美祢市社会福祉協議会が計画を共有し、実行していくことが重要となります。

市民の皆様はもとより地域福祉に関わる関係団体と連携・協働のもとに、計画を進めてまいりたいと考えていますので実現に向け、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、計画策定にあたり、貴重なご意見・ご支援を賜りました策定委員の皆様方をはじめ、住民ふくし座談会やパブリックコメント等にご協力を賜りました市民の皆様、福祉関係団体や各関係機関の皆様に衷心より厚くお礼申し上げます。

平成28年 9月

社会福祉法人 美祢市社会福祉協議会

会長 弘 利 眞 勝

ごあいさつ

この度「美祢市地域福祉計画・美祢市地域福祉活動計画」が策定されました。美祢市と美祢市社会福祉協議会が連携・協働し、美祢市においてよりよい地域福祉を実現するため一体的に策定した初めての計画になります。



計画策定にあたっては、策定のプロセスにおいて出来るだけ多くの市民に関わってもらい、市民からの意見を反映出来るようにしました。そのため、平成27年7月から12月にかけて市内27ヵ所において463名の住民の参加をえて「住民ふくし座談会」を開催しました。住民座談会は、各地域の特性を踏まえた地域福祉の推進を進めるための意見や考えをとりまとめ活用するだけでなく、市民の地域福祉への関心を高めるための良い機会でもありました。

本計画においては、今後少子高齢化や過疎化がさらに進むことが予測されている地域社会において、理念として「住み慣れた地域でその人らしく安心して生活できる地域社会の実現をめざして」を掲げ、3つの基本目標（①安心して生活できるまちづくり、②地域のつながりづくり、③地域で活動するひとづくり）のもとに、11の活動目標を設定し、施策として自助、共助、公助の観点から具体的な取り組みをまとめています。

美祢市における本計画の特徴として、新たな取り組みの推進と既存の取り組みのさらなる強化・発展を美祢市の地域特性にあわせて策定していることがあります。例えば、美祢市は山口県で初めてコミュニティソーシャルワーカーを3ヵ所の地域福祉センターに配置し、相談体制の充実を図っています。また、高齢化や過疎化による地域課題に対応するため、デマンド型のミニバスの運行や運転ボランティア活動など生活交通手段のさらなる充実や、住民同士が互いに助け合う仕組みとして仮称「小地域実行グループ」の組織化などを行いさらなる地域福祉活動の推進を目指しています。

計画は策定することも大切ですが、計画の推進もまた重要になります。本計画をもとに、美祢市の地域住民の皆様が住み慣れた地域で安心して生活できるよう地域福祉の推進と発展ができるようご期待しています。

平成28年 9月

美祢市地域福祉計画
美祢市地域福祉活動計画策定委員会

会長 長谷川 真 司

目次

第1章 計画策定にあたって

1. 計画策定の趣旨	2
2. 計画の位置づけ	2
3. 計画の期間	5
4. 計画の策定体制	5

第2章 美祢市の地域福祉を取り巻く現状

1. 各種統計データから見る美祢市	8
2. 「住民ふくし座談会」開催状況	15

第3章 計画の基本的な考え方

1. 計画の基本理念	18
2. 計画の基本目標	18
3. 施策の体系	19

第4章 地域福祉を進めるために

基本目標① 安心して生活できるまちづくり	22
基本目標② 地域のつながりづくり	34
基本目標③ 地域で活動するひとづくり	43

第5章 計画の推進

1. 計画の推進体制	50
2. 計画の公表	50

資料編

1. 計画策定経緯	52
2. 美祢市地域福祉計画策定推進委員会設置要綱	53
3. 社会福祉法人美祢市社会福祉協議会 美祢市地域福祉活動計画策定委員会設置規程	54
4. 美祢市地域福祉計画・美祢市地域福祉活動計画策定委員会委員名簿	56
5. 住民ふくし座談会結果概要	57